

第2 地域の特性と位置づけ

1 地域の優れた特性

(1) 地域共通の特性

ア 地勢の対照的夫婦島

種子島は細長くて低く、屋久島は円くて高く対照的な島ですが、種子島全体と屋久島の縁辺部の地質は同じ熊毛層群で、海底部では地勢上の夫婦島です。

イ 気候温暖、豊富な動植物資源

気候は温帯の南端部に属し、亜熱帯と接する限界地であり、動植物の北限、南限として有名な渡瀬ラインが地域近くの南方海上にあって、動植物資源の宝庫と学術研究上注目されています。

また、黒潮と薩摩・大隅両半島から南下する冷水が混合する熊毛海域は、多種多様な漁業資源に恵まれています。

ウ 歴史上に果たした重要な役割

種子島、屋久島は記紀（古事記、日本書紀）に登場するのみならず、種子島については、鉄砲伝来、度重なる漂着船等との交流、また屋久島については、鑑真、シドッチの上陸など海のシルクロードとして、歴史的に重要な役割を果たしてきました。

エ 鹿児島市に近い大きな離島、改善される交通条件

県下28の有人離島の中で、種子島、屋久島は南九州の中核都市である県都鹿児島市への定期便による時間距離が最も短い便利な島で、奄美大島に次いでそれぞれ3、2番目に大きい島で、両島の空港、港湾、道路の整備が年々進められています。

航路については、貨客フェリー等が運航されているほか、高速船ジェットfoilが現在6隻運航されており、高速船ジェットfoilは、令和元年に就航30周年を迎えました。

小型ジェット機の運航が可能な種子島空港は、令和3年に開港15周年を迎えました。また、屋久島空港では、ジェット機の就航が可能となる滑走路延伸に向けた取組が行われています。近年は、ジェットチャーター便による種子島・屋久島の周遊ツアーが好調で、交流人口の増加による地域活性化が期待されています。

オ 過疎化の中で魅力が光る土地柄

過疎化が進み、一次産業従事者の高齢化、後継者不足が叫ばれている一方、恵まれた自然環境や人情味豊かな風土等にひかれて県内外から移住する人もみられます。

種子島には、サーフィンのポイントがあちこちに点在し、国内有数のサーフスポットとして高く評価されています。また、地道な地域文化活動やスポーツ活動が展開されています。

(2) 種子島の特性

ア 日本最大のロケット発射場「種子島宇宙センター」

種子島宇宙センターは、日本の宇宙開発において人工衛星打上げの中心的な役割を果たしており、日本最大のロケット発射場です。また、「世界一美しい発射場」と称され、種子島の観光拠点の一つとなっています。

総面積は9.7k m²。H-Iロケットに次いで、平成6年2月からはH-IIロケット、平成8年8月からはJ-Iロケットが打ち上げられました。平成13年8月から打ち上げられているH-IIAロケットは、令和5年1月末までに46機の打ち上げに成功しています。平成21年9月からは、H-IIBロケットも打ち上げられ、9機の打ち上げに成功しています。

ロケット打上げ時には島外から多くの見学者が訪れています。

そして現在、新型基幹ロケットであるH3ロケットが開発されています。

イ 歴史を変えた鉄砲伝来

種子島は鉄砲伝来の地として知られています。天文12年(1543年)8月25日、島の南端門倉岬に漂着した明国船に乗っていたポルトガル人によってもたらされました。第14代島主種子島時堯は2丁を2千両で購入し、刀鍛冶の八板金兵衛が苦勞の末、国産銃を完成させました。これが、やがてわが国の戦国時代の歴史展開に大きな影響を及ぼしました。

種子島で国産銃の完成をみることができたのは、良質の砂鉄と、高熱が得られる堅い材質の樹木があり、刀鍛冶の技術が発達していたからです。しかし、八板金兵衛の鉄砲の製造には、最後の段階の銃身の底を塞ぐネジがまだ日本に存在していなかったためうまくいきませんでした。それをポルトガル人から伝授してもらうために、娘若狭がポルトガル人に嫁いだという話が語り継がれています。

ウ わが国最初の西洋式銃の導入と伝統工芸品「種子銃」

鉄砲と同時に中間支点をもつ西洋式の銃も伝わったと言われています。西洋銃が初めて導入されたわけで、特産の種子銃は、今も伝統工芸品として根強い人気を保っています。

また、平成24年3月8日に「西之表の種子銃製作技術」は、国の「記録作成等の措置を講ずるべき無形の民俗文化財」に選択されました。

エ 日本の水浴場88選に選定された浦田海水浴場

環境庁(現環境省)が、水質が良好で快適な水浴場を広く普及することを目的とした「日本の水浴場88選」(平成13年度選定)に、西之表市の浦田海水浴場が選定されています。

・環境省選定評：鉄砲伝来で有名な種子島の北部に位置し、自然の入江になっており、白い砂浜と青い海、緑あふれる森に囲まれた自然環境に優れた海水浴場で、水質も過去3年間、常時AA判定を維持している。また、ウミガメの産卵場所でもあり、自然保護の啓発活動も行っている。

オ 旧上妻家住宅

西之表市西之表にある旧上妻家住宅は、種子島家の家臣上妻家のお屋敷として、江戸末期に当時の伝統的手法を基に建築されました。

武家屋敷としての建築だけではなく、屋敷が位置する敷地全体が重要で貴重です。

平成 29 年 5 月 2 日に国の有形文化財（建造物）に登録されています。

カ 古市家住宅

中種子町坂井にある古市家住宅は、弘化 3 年（1846）年に建てられたとされる、種子島に現存する最古の住宅で、島を代表する建築物です。

屋敷の環境も良く、平成 6 年 7 月 12 日に国の重要文化財に指定されています。

キ 遠藤家住宅主屋

遠藤家住宅主屋は西之表市街地の中心部にあり、近世の伝統的住宅に近代和風の要素を加えた建物です。

西之表市及び種子島の歴史遺構として重要な文化財となっており、令和 3 年 2 月 26 日に国の有形文化財（建造物）に登録されています。

ク 広田遺跡（わが国最古の文字）

南種子町の広田で、昭和 30 年台風 22 号の波浪により、砂丘の一部が崩壊した際に発見されました。調査の結果、広田砂丘の南端から、90 箇所の埋葬遺構、158 体以上の人骨、44,000 点以上の貝製装身具が出土し、3 世紀から 7 世紀ごろまでの集団墓地であることが分かりました。

出土した貝製装身具の中には、この遺跡でしか発見されていない独特のものがあり、また、これほど多彩で多量の貝製装身具が出土した遺跡は日本列島では他に例がなく、昭和 30 年代の発掘で発見された「貝製装身具」は、平成 18 年 6 月 9 日に国の重要文化財に指定されました。

さらに平成 20 年 3 月 28 日に「広田遺跡」が史跡に、平成 21 年 7 月 10 日には平成 17 年～18 年の調査で新たに発見された「広田遺跡出土品」が、国の重要文化財に指定されています。

この遺跡から出土した「山」と刻まれた貝符は、わが国で使用された最古の漢字ではないかとの説もあります。現物は鹿児島歴史資料センター黎明館に所蔵され、レプリカは西之表市の種子島開発総合センターで見ることができます。

なお、平成 27 年 3 月 1 日には南種子町が広田地区に「広田遺跡ミュージアム・国史跡広田公園」を開館しました。国重要文化財の「広田遺跡出土品」の一部の他、集団墓地や遺跡に関する展示施設と実際の墓地跡公園が整備されており、遥か 1700 年前の弥生から古代の文化を体感できます。

ケ 立切遺跡

中種子町の標高 120m の台地上に立地しています。発掘調査によって、後期旧石器時代前半期の落とし穴遺構 24 基、礫群 5 基、焼土跡 12 基、炭化物集中 3 か所等が確認されました。落とし穴遺構はいずれも種Ⅳ火山灰層（約 3 万 5 千年前）下位で検出され、断面はフラスコ形と筒形で、上端開口部はいずれもラッパ状に開く特

徴を持ちます。礫群には明確な焼土や炭化物が見られます。出土遺物は磨石や局部磨製石斧等の礫石器が主体です。令和4年11月に国指定の史跡に登録されました。

コ 横峯遺跡

南種子町の標120mの台地上に立地しています。発掘調査では、立切遺跡同様に後期旧石器時代前半期の礫群9基と炭化物集中10か所等が検出され、礫群には明確な掘り込みを持つものがあります。石器は台石や磨石のほか、削器等の剥片石器も認められます。令和4年11月に立切遺跡とともに国指定の史跡に登録されました。

サ わが国への稲作渡来初期の地

島の北端部の浦田海岸にある浦田神社には、^{うがやふきあえずのみこと}鵜葺草葺不合命がその上から「白ごめ」の種子をまいたといわれる御種子蒔石と呼ばれる巨石が祀られており、わが国に初めて稲作が伝わったところであるとする説があります。

また、島の南端部近くの宝満神社の神田では、古代から稲の原種といわれる「赤ごめ」が栽培されてきました。毎年4月上旬には、豊作を祈願し、神田で栽培された赤米を儀礼に用い、舟田で田植舞を奉納する農耕行事が行われています。

宝満神社の農耕行事は、平成28年3月2日に「種子島宝満神社の御田植祭」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。

シ わが国最初の甘しょ栽培

第19代島主種子島久基が元禄11年(1698年)に琉球王から甘しょ1籠を贈られ、大瀬休左衛門に命じて栽培させたのが、わが国初の甘しょ栽培です。県本土の指宿市山川で栽培される7年前のことです。

ス 日本一早いコシヒカリ、新茶

南種子町荃永地区を中心として、日本一の早場米の産地が形成され、例年7月のコシヒカリの出発式がニュースになります。

また、種子島は、日本一早い走り新茶の里としても知られています。

セ 高性能を誇る製糖工場

種子島は、さとうきびの産地としては最北の地です。中種子町に立地している新光糖業株式会社の中種子工場は、1工場当り1日1,600tと県内最大の処理能力を有します。

ソ 横綱・大関を輩出した相撲の里

種子島は古くから相撲の盛んな土地柄で、第25代横綱西ノ海(西之表市下西出身)や二所ノ関親方(元大関若島津。中種子町増田出身)をはじめ、多くの角界人を輩出しています。

また、島津海(西之表市現和出身)の今後の活躍も期待されています。

(3) 屋久島の特性

ア わが国初めての世界自然遺産登録地

屋久島は、九州の最高峰宮之浦岳を擁し、世界的に貴重な樹齢数千年に及ぶ屋久杉の天然林があります。低地の亜熱帯植物帯から山頂付近の亜高山帯植物群落まで植生の垂直分布が顕著にみられ、多くの固有植物、北限・南限植物が自生しています。

その貴重な自然が、優れて普遍的な価値をもつ人類の遺産として世界的に評価され、平成5年12月11日、コロンビアで開催された第17回世界遺産委員会で、屋久島は、わが国初の世界自然遺産として登録されました。

(26 ページ参照)

イ 世界最古・最大級の縄文杉

標高約1,300mの原生林にある縄文杉は、昭和41年に発見され、樹齢2,000年代～7,200年と推定されています。

平成元年～2年に環境庁（現環境省）が実施した巨樹・巨木林調査において、縄文杉は幹周が16.1mで、全国第12位となっています。屋久島のシンボリック存在で、令和3年には約33,000人の登山者が訪れています。

なお、平成4年度の屋久杉自然館の調査によると樹高25.3m、胸高周囲16.4mと計測されています。

ウ 多くの日本百選に輝く国立公園

山岳、原生林、渓谷など変化に富んだ山紫水明の雄大で豊かな自然は、霧島屋久国立公園に指定されており、全国的な景勝地、名所として注目されています。

なお、平成24年3月16日、霧島屋久国立公園が再編され、新たに屋久島国立公園が誕生しました。

以下のように多くの日本百選に屋久島が選定されています。

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| ○ 日本百名山（1964 宮之浦岳） | 深田 久弥 |
| ○ 日本の自然百選（1983 屋久島の自然林） | 朝日新聞社、(財)森林文化協会 |
| ○ 名水百選（1985 屋久島宮之浦岳流水） | 環境省選定 |
| ○ 森林浴の森百選（1986 屋久杉林） | 林野庁、緑の文明学会、緑の文明総合研究所選定 |
| ○ 日本の滝百選（1990 大川の滝） | 緑の文明学会、グリーンルネッサンス、緑の地球防衛基金選定 |
| ○ 新日本名木百選（1990 縄文杉） | 読売新聞選定 |
| ○ 水源の森百選
（1995 白谷雲水峡とその一帯） | 林野庁選定 |
| ○ 日本の音風景百選
（1996 千頭川の溪流とトロッコ） | 環境省選定 |
| ○ 森の巨人たち百選
（2000 縄文杉、弥生杉、紀元杉） | 林野庁 |
| ○ かおり風景百選
（2001 屋久島の照葉樹林と鯖節） | 環境省選定 |
| ○ 日本の地質百選（2007 屋久島） | 日本の地質百選選定委員会 |
| ○ 平成百景（2009 縄文杉） | 読売新聞社 |
| ○ しま山100選（2016 太忠岳、宮之浦岳） | 日本離島センター |

エ 日本有数のウミガメ産卵上陸地

世界的に絶滅の危機にあるといわれる貴重な野生生物であるウミガメのうち、わが国には5月から8月にかけて、アカウミガメとアオウミガメが産卵のため上陸します。

なかでも、屋久島の永田浜（いなか浜・前浜・四ツ瀬浜の総称）は、日本有数のアカウミガメの上陸が見られる砂浜で、平成17年11月にラムサール条約の登録湿地となりました。

また、屋久島の栗生浜や一湊海岸のほか種子島の長浜海岸や浦田海岸など多くの砂浜に上陸がみられます。

オ 全国有数のぼんかん・たんかんの主産地

台湾で教師をしていた黒葛原兼成氏（後の下屋久村長）が、大正13年に台湾からはじめて持ち込んだぼんかんと、昭和10年代の前半、ぼんかんの苗木に混ざって導入されたたんかんは、屋久島の気候・土壌に適しており、屋久島を代表する果樹として、質・量ともに日本有数の主産地となっています。

このうち、たんかんは「かごしまブランド産品」に指定されています。

カ 高級品から日用品まで用と美の屋久杉加工品

屋久島では、樹齢1,000年を超える杉を屋久杉、それよりも若い杉を「小杉」と呼んでいます。

屋久杉は、高級な建材、家具、工芸品から日用の小物まで多種多様な製品加工が行われ、その重厚な木目の美しさ、独特のつや、色あいが見る人の目を魅了する不思議な力をもっています。

しかし、屋久杉はほとんどが国有林内にあり、環境保護のために現在は伐採が禁止されており、土埋木の搬出も平成29年で終了していることから、資源の枯渇が懸念されています。

キ 活かされる豊富で良質の水

屋久島はひと月に35日雨が降るといわれるほど降水量が多く、山岳地帯の年間降水量は、8,000～10,000mmにも達します。この屋久島の水は環境省の名水百選にも選ばれており、豊富で良質な水の活用が重要となっています。

昭和27年に立地した屋久島電工株式会社は、現在、水力発電所3カ所（認可出力58,500kw）を保有し、電力を多く消費する炭化ケイ素などの製造に用いるとともに一般家庭用の電力供給を行っています。

また、花崗岩質の山岳から流れ落ち、岩間に湧き出る水はまるやかな軟水であることから、南日本酪農協同株式会社屋久島工場では、これを「屋久島縄文水」として生産販売し、県内外で好評を博しています。

島南部一体に拓けた台地上では、樹園地や畑において農業が盛んに行われていますが、年間降水量は多いものの、島の地形が急峻なことから山に降った雨は海まで一気に流れ込み、雨水を蓄える箇所もないため、時々干ばつに見舞われることもあり、安定した農業が出来ない状況にありました。

そこで、平成元年度から、景勝地として有名な千尋の滝がある鯛之川を水源として、約340haの農地へ農業用水を供給する県営かんがい排水事業が行われました。

ク 古書が推挙する日本一の硯材^{すずりざい}

江戸時代（文政12年）に徳島の橋南^{たちばななんけい} 谿^{ほくそうていだん}が著した北窓瑣談後編巻之四に、「硯材は薩州屋久島石を第一とすべし。石密にして、しかも墨よくおり、又墨澄むことなし。その次は山城の石王寺、若狭のうぐいす鳳足、甲斐の飴畑、土佐の青石、美作の高田など硯石の上品なり云々」とあるように、古くから屋久島産の硯は貴重な存在でした。

ケ 県内唯一の家庭薬の製薬工場

屋久島町楠川にある株式会社老舗恵命堂の屋久島工場は、県内唯一の全国向け家庭薬の製薬工場です。屋久島・種子島産のガジュツを主成分とする胃腸薬と屋久島産ウコンを原料とする健康補助食品を製造販売しています。

コ スポーツで日本の覇者2人を生んだ栗生集落

屋久島町栗生集落の出身者から日本一のスポーツ選手2人が昭和の時代に誕生しました。

松田一二^{まつだかっじ}氏は、昭和7年全日本剣道大会で優勝し、昭和42年には剣道教士の称号を与えられました。

山崎浩子氏は、両親が栗生出身で、高校時代から新体操に打ち込み、日本女子体育短期大学に進み、新体操の女王として活躍し、昭和59年のロサンゼルスオリンピックで第8位入賞を飾りました。

サ CO2フリーの島づくり

屋久島では、ほぼ全ての電力が、発電時にCO2を発生しない水力発電で賄われています。このような地域は他になく、脱炭素社会に向けてモデルになりうる地域特性をもっています。

県では、このような特性を活かし、屋久島においてCO2排出量の削減を促進し、CO2の排出が実質的に抑制された先進的な地域づくりを目指しています。

2 主要指標からみた熊毛地域

熊毛地域は、全国の有人離島（本土との架橋離島を除く）の中で第4，第5番目に大きい屋久島，種子島を中心とする島々からなり，県土の10.8%の面積を占めています。

地域の人口は，昭和35年国勢調査の88,542人をピークに減少を続け，令和2年国勢調査では39,550人で，県人口の2.5%を占めています。

1市3町ともに過疎化が進む中で高齢化も進みつつあり，高齢化率は37.5%（令和2年国勢調査）と県平均の32.5%を5ポイント上回っています。

地域の市町村内総生産額（令和元年度）は1,414億円で，県全体の2.4%を占めています。

地域の基幹産業は第一次産業で，就業者構成比（令和元年度）で24.1%（県9.4%），総生産額構成比で7.2%（県4.6%）を占めており，いずれも県の構成比より高くなっています。

第二次産業は，就業者構成比で13.0%（県18.9%），総生産額構成比で15.1%（県20.6%）を占めており，いずれも県の構成比より低くなっています。

第三次産業は，就業者構成比で62.9%（県71.6%），総生産額構成比で77.0%（県74.1%）を占める最大の産業ですが，就業者は県の構成比より低く，総生産額は県の構成比より高くなっています。

地域住民1人当たりの所得（令和元年度）は，2,398千円で県民1人当たり所得（2,558千円）の93.8%となっています。

主要指標からみた熊毛地域

項目	単位	種子島地区	屋久島地区	熊毛地域	鹿児島県	熊毛／県 (%)	備考
〔自然条件〕							
島しょ数（面積1km ² 以上の島）	島	2	2	4	32	12.5	令和4年国土地理院全国都道府県市区町村別面積調
有人島数	島	1	2	3	26	11.5	本土との架橋離島を除く
総面積	km ²	451.95	540.06	992.01	9,186.33	10.8	令和4年国土地理院全国都道府県市区町村別面積調
年間平均気温	℃	20.2	19.9	-	(鹿児島市) 19.2	-	令和3年鹿児島地方気象台（本書p.12,14）
年間降水量	mm	2,283.0	4,265.0	-	(鹿児島市) 2,782.0	-	令和3年鹿児島地方気象台（本書p.12,14）
〔人口〕							
総人口	人	27,692	11,858	39,550	1,588,256	2.5	国勢調査（本書P.53,54）
世帯数	世帯	13,315	5,847	19,162	728,179	2.6	国勢調査（本書p.58）
1世帯当たり人口	人	2.1	2.0	2.1	2.2	-	
人口密度	人／km ²	61.3	22.0	39.9	172.9	-	
年少人口割合（15歳未満）	%	12.6	13.6	12.9	13.1	-	国勢調査（本書p.54）
生産年齢人口割合（15～64歳）	%	49.3	50.0	49.5	54.4	-	〃
老年人口割合（65歳以上）	%	38.0	36.4	37.5	32.5	-	〃
出生率	人口千人 対	6.0	6.9	6.3	7.4	-	令和2年人口動態統計（本書p.57）
死亡率	人口千人 対	16.0	17.2	-	13.6	-	〃
〔経済〕							
郡（県）民所得	千円	68,723,907	27,826,331	96,550,238	4,097,532,000	2.4	令和元年度市町村民所得推計報告書（本書p.59）
1人当たり郡（県）民所得	千円	2,436	2,308	2,398	2,558	93.8	〃
郡（県）内総生産	百万円	97,274	44,090	141,364	5,772,861	2.4	〃（本書p.65）
（内訳実数）第一次産業	百万円	8,856	1,266	10,122	263,548	3.8	〃
第二次産業	百万円	11,600	9,785	21,385	1,191,058	1.8	〃
第三次産業	百万円	76,166	32,743	108,909	4,279,655	2.5	〃
（構成比）第一次産業	%	9.1	2.9	7.2	4.6	-	〃
第二次産業	%	11.9	22.2	15.1	20.6	-	〃
第三次産業	%	78.3	74.3	77.0	74.1	-	〃
就業者総数	人	16,856	7,110	23,966	822,171	2.9	〃（本書p.69）
（内訳実数）第一次産業	人	4,932	839	5,771	77,391	7.5	〃
第二次産業	人	2,046	1,079	3,125	155,730	2.0	〃
第三次産業	人	9,878	5,192	15,070	589,050	2.6	〃
（構成比）第一次産業	%	29.3	11.8	24.1	9.4	-	〃
第二次産業	%	12.1	15.2	13.0	18.9	-	〃
第三次産業	%	58.6	73.0	62.9	71.6	-	〃

※種子島地区は馬毛島，屋久島地区は口永良部を含む。

四捨五入の関係で，係数は一致しない場合がある（以下同様）。

項 目	単 位	種子島地区	屋久島地区	熊毛地域	鹿児島県	熊毛／県 (%)	備 考
〔農業〕							
農家戸数	戸	2,386	559	2,945	48,360	6.1	2020年農林業センサス（本書p.114）
耕地面積	h a	8,440	937	9,377	112,900	8.3	農林水産省「作物統計面積調査」（本書p.3）
農業従事者数	人	2,642	400	3,042	37,580	8.1	2020年農林業センサス（本書p.114）
農業産出額	百万円	12,838	1,400	14,238	—	—	令和3年熊毛支庁農政普及課（本書p.118）
（内訳）米	百万円	664	14	679	—	—	〃
さつまいも（青果用除く）	百万円	802	10	812	—	—	〃
野菜	百万円	2,314	137	2,451	—	—	〃
（青果用さつまいも）	百万円	671	1	672	—	—	〃
（ばれいしょ）	百万円	910	120	1,030	—	—	〃
果樹	百万円	72	458	529	—	—	〃
花き	百万円	349	17	365	—	—	〃
工芸作物	百万円	4,295	419	4,714	—	—	〃
（さとうきび）	百万円	3,479	—	3,479	—	—	〃
畜産	百万円	5,696	401	6,097	—	—	〃
〔土地改良〕							
畑地かんがい整備率	%	23.4	80.1	33.2	53.9	—	令和4年3月31日現在県農地整備課（本書p.125）
ほ場整備率	%	54.5	46.6	54.0	68.8	—	〃
農道整備率	%	68.6	80.7	70.8	62.0	—	〃
〔林業〕							
林野面積	h a	24,248	48,568	72,816	594,144	12.3	令和4年度県森林・林業統計（本書p.3, p.127）
林野率	%	53.5	89.9	73.3	64.7	—	〃（本書p.3）
国有林面積	h a	3,325	38,286	41,611	154,295	27.0	〃（本書p.3, p.127）
民有林面積	h a	20,923	10,282	31,205	439,849	7.1	〃
人工林面積	h a	5,978	2,714	8,692	192,910	4.5	〃（本書p.127, p.128）
民有林に占める人工林率	%	28.6	26.4	27.9	43.9	—	〃
林産物生産額	千円	346,008	187,546	533,554	—	—	令和3年特用林産物生産実態調査及び令和3年度市町村別素材生産量調査（本書p.130）
〔漁業〕							
漁港数	港	19	8	27	139	19.4	熊毛支庁建設課，屋久島事務所（本書p.138）
漁業経営体総数（海面・養殖）	体	249	90	339	3,115	10.9	2018年漁業センサス（本書p.137）
動力漁船総隻数	隻	436	180	616	8,155	7.6	漁船統計表（令和3年12月31日現在）
うち5t未満	隻	390	135	525	6,815	7.7	〃
海面漁業漁獲高	千円	534	263	797	—	—	令和3年熊毛支庁林務水産課（本書p.137）

項 目	単 位	種子島地区	屋久島地区	熊毛地域	鹿児島県	熊毛／県 (%)	備 考
〔商工業〕							
商店数	店	409	188	597	17,439	3.4	平成28年商業統計（本書p.148）
年間商品販売額	百万円	31,353	13,168	44,521	4,194,068	1.1	〃（本書p.148）
製造品出荷額等	万円	817,941	1,003,367	1,821,308	199,396,739	0.9	2020年度鹿児島県の工業統計（p.141）
〔観光〕							
延べ宿泊者数	人	185,811	178,344	364,155	4,925,760	7.4	令和3年観光統計（本書p.153）
延べ日帰り客数	人	114,592	65,037	179,629	14,426,000	1.2	〃
宿泊施設収容能力	人	3,082	4,441	7,523	-	-	令和4年12月1日現在 西之表保健所、屋久島保健所（本書p.153）
〔生活指標〕							
生活保護率	‰	11.4	19.4	13.8	18.7	-	令和3年度月平均熊毛支庁地域保健福祉課（本書p.79）
老人クラブ加入率	%	23.2	19.7	22.2	-	-	令和4年3月31日現在熊毛支庁地域保健福祉課（本書p.80）
医師1人当たりの人口	人	735	974	794	341	-	令和3年10月1日推計人口、令和2年度医師・歯科医師・薬剤師統計、令和3年医療施設調査（本書p.76）
歯科医師1人当たりの人口	人	2,093	2,337	2,161	1,216	-	〃
し尿水洗化率	%	85.3	83.7	84.8	91.1	-	令和2年度末現在西之表保健所（本書p.97）
ごみ処理率	%	100.0	100.0	100.0	97.8	-	〃
水道普及率	%	99.6	99.3	99.5	97.7	-	〃（本書p.98）
高校等進学率	%	99.1	99.0	99.1	99.2	-	令和4年3月公立学校卒業生（学校基本調査報告書）（本書p.100）
大学等進学率	%	63.8	67.7	64.8	71.7	-	〃
〔行財政〕							
市町村数	市町村	3	1	4	43	9.3	平成19年10月1日以降
有権者数	人	22,323	9,927	33,250	1,330,139	2.5	令和4年12月1日現在県選挙管理委員会（本書p.58）
財政規模（歳入）	千円	26,662,819	13,699,100	40,361,919	1,117,937,389	3.6	令和3年度市町村決算状況（本書p.201）
財政規模（歳出）	千円	26,276,405	12,619,032	38,895,437	1,071,666,998	3.6	〃
財政力指数	指数	0.24	0.24	0.24	0.29	-	〃（本書p.204）（種子島及び熊毛地域は単純平均）
経常収支比率	%	86.7	83.4	85.1	86.3	-	〃（本書p.204）（種子島及び熊毛地域は単純平均）